

職員の検温、勤怠、ストレスチェック [PLEN Cube モチベーション管理版 | 管理を支援するAIアシスタント リスク計測テクノロジーズ株式会社]

簡易検証

実証の背景・目的

【背景・課題】

医療従事者は、コロナ禍で日々高いストレスの中で業務しており、手軽に自身のストレス状態を確認することで、精神疾患を未然に防ぐこと求められています。

【目的】

- ✓ 顔識別を用いた**勤怠と検温管理の自動化**
- ✓ 発声による**ストレス状態の可視化**
- ✓ 精神疾患の予防による**離職リスクの低減**

実証の概要

【実施内容】

- 1. 顔画像事前登録**
勤怠入力自動化のため、顔識別用の画像登録
- 2. 勤怠入力、検温**
入退館時の顔識別機能を用いた勤怠入力・検温
- 3. ストレスチェック**
2語の発声によるストレス状態の計測



利用したロボット

実証の結果

- ✓ **ストレス度の手軽な記録を実現**
2語の発声で手軽に記録を実現でき、簡単なストレスのセルフチェックを実現
- ✓ **音声取得精度の向上**
雑音対策として単一指向性マイクを外付けたことにより、音声取得精度向上を実現

まとめ

【課題・解決策】

- ✓ **リモートの保守機能の搭載**
ロボットへの顔画像登録や通信障害の対応で現地へ行く必要があったため、顧客満足度の向上と効率的な運用のため、リモートの保守機能が必要
- ✓ **通信障害時の対応**
通信障害でデータが取れないことが度々発生したため、ロボット側で解析、または音声データを保持し、あとから解析する仕組みが必要
- ✓ **ストレス状態の記録の活用**
実証中はセルフチェックのためだけに利用したが、管理者などが適切に職員のストレス状態を把握し、ストレス状態の悪化が見られる職員への適切な介入を促す仕組みが必要

実証の様子

